

# 学 報 み え た ん

発行所  
三重県津市一身田中野157  
三重短期大学  
電話 059-232-2341  
E-mail: 232-2341@city.tsu.lg.jp  
印刷所  
伊勢出版  
電話 059-265-6888

# 「地域と歩む みえ短」

三重短期大学に学ぶ学生の活力は、地域の大切な財産です。

学生は学内活動だけでなく、地域社会において自主的にさまざまな活動をして、地域貢献を果たしています。また大学としても市民の皆さんを対象に地域連携講座やオープンカレッジなどを開催し学習機会を提供するなど地域に開かれた大学を目指しています。

## 一身田寺内町の清掃

一身田寺内町は、平成29年11月に国宝指定された2施設を含む高田本山専修寺を中心とした寺内町で、今もほぼ完全な形で環濠が残されるなど、多くの文化財や歴史的な町並みを現在に伝えています。新型コロナウイルス感染症の影響で2年間中止となっており、おりました清掃活動ですが、今春は3年ぶりに多くの本学学生が参加し、5月28日(土)地元在住の、地元中学校の生徒の皆さんとともに、一身田寺内町や高田本山専修寺境内の清掃・除草を行いました。



## 大津波想定避難訓練

4月28日(木)南海トラフ巨大地震に備え、津波を想定した避難訓練を行いました。三重短期大学から、高台にある一身田上津部田の県総合文

化センターを目指し、学生と教職員が歩いて避難しました。また学内では防災啓発車による地震体験を行いました。



校舎の3・4階と屋上は津波避難ビルの指定を受けているため、屋上の緊急避難場所の確認も行いました。災害時は、自分の身は自分

## 学生機能別消防団

学生機能別消防団では、避難所での救援物資の配布などの支援活動や各種消防講習会における支援及び広報活動を行います。今年度は45名の学生が機能別消防団員として入団し、6月23日(木)に辞令交付式を行いました。4月の避難訓練の参加や10



で守ることが大切になります。この訓練により防災意識の一層の向上を図ることができました。



学長 村井美代子

## 開学70周年を迎えて

昭和25年、戦後の学制改革に伴い新しい学校制度として短期大学制度が発足し、一年後の昭和27年に三重短期大学が創設され、これまでに1万2千名を超える学生が本学を巣立っています。今年度本学は開学70周年を迎えます。三重短期大学同窓会と三重短期大学教育振興会の協力を得て、『開学70周年記念誌』を編纂し、本年10月には本学体育館で記念式典の開催を予定しています。

昭和43年の現校地への移転から年月が経過し、大学施設の整備が課題の一つとなる中、平成25年度には校舎棟工率ベーターの設置工事を、平成26年度には校舎棟への移転から年月が経過し、大学施設の整備が課題の一つとなる中、平成25年度には校舎棟工率ベーターの設置工事を、平成26年度には校舎棟への移転から年月が経過し、大学施設の整備が課題の一つとなる中、平成25年度には校舎棟工率ベーターの設置工事を、平成26年度には校舎棟への移転から年月が経過し、大学施設の整備が課題の一つとなる中、平成25年度には校舎棟工率ベーターの設置工事を、平成26年度には校舎棟への移転から年月が経過し、大学施設の整備が課題の一つとなる中、平成25年度には校舎棟工率ベーターの設置工事を、平成26年度には校舎棟への移転から年月が経過し、大学施設の整備が課題の一つとなる中、平成25年度には校舎棟工率ベーターの設置工事を、平成26年度には校舎棟への移転から年月が経過し、大学施設の整備が課題の一つとなる中、平成25年度には校舎棟工率ベーターの設置工事を、平成26年度には校舎棟への移転から年月が経過し、大学施設の整備が課題の一つとなる中、平成25年度には校舎棟工率ベーターの設置工事を、平成26年度には校舎棟への移転から年月が経過し、大学施設の整備が課題の一つとなる中、平成25年度には校舎棟工率ベーターの設置工事を、平成26年度には校舎棟への移転から年月が経過し、大学施設の整備が課題の一つとなる中、平成25年度には校舎棟工率ベーターの設置工事を、平成26年度には校舎棟への移転から年月が経過し、大学施設の整備が課題の一つとなる中、平成25年度には校舎棟工率ベーターの設置工事を、平成26年度には校舎棟への移転から年月が経過し、大学施設の整備が課題の一つとなる中、平成25年度には校舎棟工率ベーターの設置工事を、平成26年度には校舎棟への移転から年月が経過し、大学施設

## 新型コロナウイルス感染症拡大防止について

現在、本学の授業については、感染防止対策を講じながら、対面授業を基本とし実施しています。施設への出入り口には消毒液を設置し、各教室では着席制限を行い、教室教壇や図書館カウンターには飛沫防止対策として遮蔽措置を行っています。



食堂も同様に飛沫防止対策を行っています。引き続き、感染状況を注視しつつ、安全面・健康面に考慮した姿勢を継続していきます。

# 地域に生きる法経科

法経科長 大畑 智史



商コース対象の関連分野特別選抜(入試形態)の導入をしたりしてまいりました。以上のような取り組みの中で、順調に、社会にとって有為な人材を輩出してまいりました。

法経科は第2部から始まりましたが、おかげ様で、法経科における教育が開始されてから70年が経ちました。この期間において、より充実した法経科教育の実施などの目的から、第1部のコース再編をしたり、第2部に長期履修学生制度を設けたり、第1部経

# 食物栄養学科の現況

食物栄養学科長 阿部 雅里



昨年度4月から食物栄養学科がスタートし、今年度は完成年度を迎えました。今年度新入生の入学試験から関連分野特別選抜を取り入れ、高校で食物や栄養について学んだ学生もさらに専門的に学べるように、各教員も授業に工夫をこらしています。

食物栄養学科の学生は栄養士免許の取得を目指し、数多くの講義、実験実習を頑張っています。今年度はほとんど

一人の進路がきちんと決まるよう、学校教育に力を込めています。

その一方で、変化の激しい社会に対応した法経科の構築に向けた努力も欠かすことがありません。とりわけ、少子高齢化や、リカレント教育の充実を考慮した本学科のブラッシュアップが喫緊の課題となっております。今後も、こうしたことを考慮し、法経科における、入試制度、カリキュラム、地域連携や産学官連携、教員採用、などの体制を充実させてゆこうと考えています。

全ての授業が対面授業になり、昨年度と同様に実験実習は、新型コロナウイルス感染症対策のため2か所に分かれての対面実験実習で実施しています。食物栄養学科の大きな特徴である実験実習については、学生からも「実際に手を動かすことで重要ポイントが理解できた、班員と協力するのでさらに仲良くなれる、身近な内容なので楽しい」、などの肯定的な意見が聞かれます。我々教員も学生が実験実習を通して、栄養士に必要な知識や技術を身に付けられるように工夫を重ねていく所存です。

地域貢献・地域連携活動では、高校生との運動部栄養サポート、世界の料理の調理実



# 生活科学科の現況

生活科学科長 南 有哲



生活科学科と食物栄養学科と分離して一年以上経過しましたが、定員数100人の学生を相手に、専任教員8名で切りまわしています。2021年度

の状況としては、まず1年度における成果が挙げられます。2022年3月末の時点で、生活福祉・心理コースが国立1名、私立4名で計5名。居住環境コースは国立11名、私立4名の計15名、私立4名の計15名となりました。特に居住環境コースに関しては、この十年で最も多い数となっております。「理系編入学に強い公立短期大学」という認識が、世間にそれなりに浸透しつつあるものと考えられます。

# キャンパスライフ

学生部長 木下 誠一



今年度もコロナ禍にあり、学生生活には様々な制約がありますが、学生同士が交流できる企画を学生が主体となって実施しています。4月には新入生歓迎バス旅行を開催し、日帰りでナガシマスパイルランドに出掛け、新入生同士だけでなく同行した2年生や教員とも交流を深める貴重な機会となりました。5月には学生自治会主催の運動会を体育館で行いました。

月に一度、学生部と学生自治会、学祭実行委員会、三科合同クラブ委員会、生協学生委員会が協議する「三部会」を開催しています。もともと祭実行委員会の三者が協議する場であったため「三部会」と呼んできました。学生の要望や提案を聞きながら、より良い学生生活のあり方を一緒

# 地域連携センターだより

地域連携センター長 藤 枝 律子



三重短期大学地域連携センターは、本学における地域連携及び地域貢献事業に取り組むための窓口として、2008年4月に設立されました。連携センターの事業は、いづれも多方面からの支援を得て、着実にその成果を上げてきています。

事業は、多岐にわたりますが、最も重要な位置づけとなっているのが生涯学習の機会を提供することです。この分野において中心になるのは、「地域連携講座」と「オープンカレッジ」の二つの事業です。「地域連携講座」は、本学の教員がコーディネータを務めて、各分野の著名な研究者や実務家をお招きし、最先端の知見を市民に提供する講座です。「オープンカレッジ」は、本学の教員が講師となり、5日間10講座が開催されます。一昨年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、両講座とも残念ながら不開講のやむなきに至りましたが、昨年度は、「オープンカレッジ」も「地域連携講座」も、感染防止対策に努めながら対面の講座を実施することができました。今年度の「オープンカレッジ」は、校舎棟改修工

事のため、11月から12月にかけて開講する予定です。本学教員の研究や社会活動の中から講演可能なテーマを事前に設定し、市民の要望に応じて、教員が出向いて講演・解説などを行う「出前講座」も、年々依頼が増えてきております。また、三十三総研との連携事業である「小論文・作品コンクール」は、今年で16回目になりました。コンクールの今年度のテーマは「SDGsの実現に重要な『多様性』」の視点から、誰もが認められる社会と安心して暮らせる明るい未来を目指して」です。学生が作成したイラストを配したポスターを掲示し、チラシを配布するなどして、現在、参加を呼びかけています。今年度も多くの応募があることを期待しています。

他にも、市政との連携である政策研究・研修、高大連携事業、三重大との連携事業、「高等教育コンソーシアムみえ」を通じた地域貢献、学生ボランティア活動支援などを通じ、地域連携センターは、大学と地域とをつなぐ架け橋の役割を担っていききたいと思っています。



# 新任教員の紹介

生活科学科 生活福祉・心理コース

田中 武士



みなさま、はじめまして。本年度よりご縁をいただき着任いたしました田中武士と申します。主に社会保障や社会福祉を専門としております。私は前職、医療機関等で相談援助職に20年ほど従事してきました。これまで路上生活者の方々など、実に様々な生活背景のあるケースに取り組み

法経科

照井 遥瑛



本年4月に着任した照井遥瑛と申します。研究分野は民法、環境法で、本学では民法I・II・IIIを担当しております。これまでは学生として研究活動に専念しておりましたが、教員として教育・研究活動に従事するのは初めてです。皆さんの貴重な学生生活が少しでも実りのあるものになるよう、支援に精進して参ります。

## 図書館だより

### 附属図書館

附属図書館の所蔵資料は令和3年度末で図書99,245冊(和書94,747冊、洋書4,498冊)、電子書籍238冊、受入れ雑誌115種(和雑誌100種、洋雑誌15種)、オンラインジャーナル12種、紀要683種、新聞8種(和新聞6種、洋新聞2種)、視聴覚資料412タイトルで、小規模図書館でありながら、20万冊を超える資料を所蔵しています。

## 令和4年度総会を開催

### 三重短期大学教育振興会

5月12日(木)、役員会と総会が開催され、令和4年度役員選任、令和3年度収入支出決算、令和4年度収入支出予算などが提案され、すべて原案どおり承認されました。役員は平松会長、並びに小野副会長に留任いただき、学生のご家族3名が書記、評議員に選任されるなど、合計30名による役員体制となりました。決算では、就職対策、編入学講座の補助やクラブや自治会などへの補助などの報告が行われ、本年度予算では、例年の事業に加え70周年記念事業の補助についての説明などが行われました。

令和3年度教育振興会収入支出決算

収入		予算額		決算額		予算額に対する決算額の比較増減額		備考
科目	円	円	円	円	円	増減	増減率	
繰越金	2,976,928	2,976,928	0	0	0			
会費	16,890,000	16,890,000	0	0	0			新入生会費 法I・生活・食栄 259人 15,540,000円 法II 54人 1,350,000円
雑収入	1,000	94	△ 906	0	0			預金利子94円
合計	22,867,928	22,867,022	△ 906					

支出		当予算額		流用・補正		予算現額		決算額		不用額		備考(主なもの)
科目	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
教育振興会費	22,867,928	0	22,867,928	18,776,214	4,091,714							
事務費	1,710,000	0	1,710,000	1,529,768	180,232							
事務職員給与	1,400,000	0	1,400,000	1,315,004	84,996							振興会臨時職員給与
通信費	170,000	0	170,000	132,510	37,490							学報みえたん、総会通知郵送料等
消耗品費	10,000	0	10,000	8,054	1,946							
手数料	80,000	0	80,000	74,200	5,800							口座振込手数料
備品費	50,000	0	50,000	0	50,000							
会議費	55,000	0	55,000	40,852	14,148							
会議費	5,000	0	5,000	2,352	2,648							
役員行動旅費	50,000	0	50,000	38,500	11,500							監査開催時行動旅費
事業費	21,102,000	0	21,102,000	17,205,594	3,896,406							
学校運営費補助	6,941,000	0	6,941,000	5,746,334	1,194,666							
研修旅費補助	51,000	0	51,000	0	51,000							
入学試験普及及び奨励補助	2,000,000	0	2,000,000	1,989,696	10,304							大学案内パンフレット作成費 入学式YouTube配信
清掃費補助	20,000	0	20,000	0	20,000							
消耗品費補助	50,000	0	50,000	13,898	36,102							
印刷費補助	80,000	0	80,000	76,450	3,550							学報みえたん印刷費
図書及び備品費補助	250,000	0	250,000	11,790	238,210							図書室備品購入費等
教員研究費補助	4,350,000	0	4,350,000	3,654,500	695,500							学会費補助、消耗品等
特別研究費補助	50,000	0	50,000	0	50,000							
学外活動等保険料	10,000	0	10,000	0	10,000							
報償費	80,000	0	80,000	0	80,000							
補導厚生費補助	8,101,000	0	8,101,000	6,209,156	1,891,844							
学生補導費	500,000	0	500,000	280,028	219,972							本学館舎管理費 のクレジット
学外実習費補助	120,000	0	120,000	18,956	101,044							
厚生事業費	1,000,000	0	1,000,000	648,096	351,904							相談室運営費
就職対策費	1,800,000	0	1,800,000	1,150,890	649,110							編入学講座補助、キャリア形成セミナー講師料
食堂運営費補助	600,000	0	600,000	600,000	0							学生食堂運営補助
文化事業費	2,780,000	0	2,780,000	2,600,000	180,000							クラブ助成金、自治会補助、大学祭補助
交歓競技会補助	1,000	0	1,000	0	1,000							
卒業式等実施補助	1,300,000	0	1,300,000	911,186	388,814							卒業記念パーティ補助、学位記ホルダー等
講座研究費補助	1,700,000	0	1,700,000	1,053,423	646,577							
学術研究費補助	1,200,000	0	1,200,000	853,340	346,660							地研消耗品費、図書購入補助
学術研究旅費補助	100,000	0	100,000	4,800	95,200							
研究機関誌補助	150,000	0	150,000	130,845	19,155							地研年報印刷費補助
業務計画委員会等補助	250,000	0	250,000	64,438	185,562							FD/SD活動報告書
附属図書館費補助	1,810,000	0	1,810,000	1,809,464	536							
図書購入費	1,500,000	0	1,500,000	1,499,884	116							学術誌等購入費
印刷費	190,000	0	190,000	189,640	360							図書館だより印刷、雑誌製本費等
消耗品費	120,000	0	120,000	119,940	60							
校舎整備費補助	2,500,000	0	2,500,000	2,387,217	112,783							空調機器、照明機器取替修繕費等
校舎整備費補助	2,500,000	0	2,500,000	2,387,217	112,783							
渉外費補助	50,000	0	50,000	0	50,000							
渉外費補助	50,000	0	50,000	0	50,000							供花・生花代
積立金	0	0	0	0	0							
積立金	0	0	0	0	0							
予備費	928	0	928	0	928							
予備費	928	0	928	0	928							徴入決算による
合計	22,867,928	0	22,867,928	18,776,214	4,091,714							

収入決算額 22,867,022円  
 支出決算額 18,776,214円  
 差引残額 4,090,808円 (翌年度繰越金)

などを行っています。また、最近では新たな試みとして絵本の読み聞かせの勉強をしています。

図書館は本を借りる、勉強するだけの場所ではありません。就職活動・編入試験対策の資料、新聞・雑誌、新聞記事を検索できるデータベース、DVD視聴スペースなどがある他、植物の種の貸出(花が咲いたら種を返却)などの企画も行っています。ぜひご利用ください。

## 同窓会だより

### 事業報告と決算

6月25日(土)に同窓会総代会が開催され、令和3年度の事業報告と決算報告、会計監査報告、令和4年度の事業計画と予算が提案され、原案どおり承認されました。

### 令和3年度 三重短期大学同窓会決算報告

収入		支出		比較増減		備考
項目	予算額(A)	収入総額(B)	項目	予算額(A)	支出総額(B)	(A-B)
前年度繰越金	7,483,907	7,483,907	協賛事業費	500,000	89,000	411,000
会費収入	1,565,000	1,565,000	助成事業費	1,100,000	196,478	903,522
預金利子収入	1,000	71	卒業記念品作成費	200,000	159,940	40,060
雑収入	0	4,650	同窓会だより発行費	400,000	0	400,000
合計	9,049,907	9,053,628	会議運営費	500,000	148,691	351,309
			事務費	300,000	96,845	203,155
			予備費	49,907	0	49,907
			小計	3,049,907	690,954	2,358,953
			特別支援費(寄付金)	1,000,000	0	1,000,000
			特別学生支援費	1,000,000	0	1,000,000
			特別事業準備費	4,000,000	0	4,000,000
			合計	9,049,907	690,954	8,358,953

収入済額 9,053,628円 - 支出済額 690,954円 = 次年度繰越額 8,362,674円

現金・預金残高		備考	
項目	金額	項目	金額
現金	62,816	現金	62,816円
普通預金	8,299,858	普通預金	8,299,858円
定期預金	0	定期預金	0円
計	8,362,674	計	8,362,674円

# キャリア支援室たより

## キャリア支援委員会

就職や編入学など、学生それぞれが希望の進路を叶えられるよう、入学時から様々な形でサポートしています。1年次の前期には、新入生を対象に就職ガイダンスや編入学ガイダンスを行い、就職や編入学に向けた心構えや準備などについて説明を行いました。また、前期に開講している「キャリア形成セミナー」は、今年度、217名が受講しました。受講生の大半は新入生で、前葉泰幸津市長をはじめ、毎回様々な分野から講師をお招きしています。学生は多様な職業観や人生観に触れることを通じて、今後の進路選択

# 学生自治会だより

## 自治会・大学祭実行委員会

### 1部自治会長

食物栄養学科  
小谷 真 鈴

### 2部自治会長

法経科第2部  
八尾 俊 征



私たち1部自治会は法経科第1部と食物栄養学科と生活科学科の学生で構成されています。2年という短い大学生活をより楽しく、快適に過ごしてもらうために、夜間部の学生で構成されている2部自治会や大学祭実行委員会、生活協学生委員会と協力して日々活動しています。

主な活動内容は、新入生歓迎会や新歓バス旅行、サマーフェスティバル、大学祭などの企画運営などを行っています。今年度はコロナ対策としてありますが、コロナ対策を万全にした上で学生の皆さんが楽しんでもらえるような楽しいイベントを開催したいと思っていますので、ぜひ参加してください！



現在2部自治会は、2年生5名、1年生11名、合計16名が所属しています。私たちは主に、法経科第2部の新入生歓迎会の主催、新入生歓迎バス旅行の企画・運営を行っています。また、サマーフェスティバルや大学の運営補助やその他の学校行事の運営のお手伝いを行っています。昨年度は新型コロナウイルスの影響で、学校行事の中止や規模縮小を迫られました。そんな中で、感染対策を徹底し行った今年度の新入生歓迎バス旅行には105名の学生が参加し、素晴らしい思い出を築き上げました。今後も、学生生活をより一層充実させるためのイベントを実施していくので、是非参加してください！待っています！

## 大学祭実行委員会委員長

生活科学科  
河津 舞



私たち大学祭実行委員会は、7月のサマーフェスティバル、12月に開催を予定している大学祭の企画・運営を行っています。サマーフェスは感染対策のため、掛け声や体育館内での飲食禁止など、多くの制限があったものの、卒業生や家族など学外の関係者を呼ぶこともできました。2年ぶりの開催ということもあり、とてもうれしかったです！

現在は大学祭に向けて準備を進めています。感染対策を徹底しながら、ステージ発表・出店をさらに盛り上げられるように企画を考えています。実行委員や自治会のメンバーと一緒に、みんなで学祭を盛り上げていきます！！



# 令和3年度の学事報告

## 大学総務課

4月：入学式(4日)、新入生各種ガイダンス(5日)、前期講義開始(8日)、健康診断(15日)、16日、大津波想定避難訓練(22日)

7月：サマーフェスティバル(中止) 前期補講(30日)

8月：オープンキャンパス(18日、20日)

9月：前期成績発表(27日、28日)、後期オリエンテーション(27日、28日)

10月：後期講義開始(1日)、受験相談会(16日)、関連分野入学試験(23日)

11月：推薦入学試験(27日、28日)

12月：受験相談会(18日)、冬季休業(25日)～1月3日

1月：後期講義再開(4日)、後期補講(29日)～2月4日)

2月：法経科第2部受験相談会(5日)、一般入学試験(8日、9日)、後期追試験(16日、17日)

3月：後期成績発表(2日、3日)、法経科第2部入学試験(6日)、学位記授与式(19日)

# 令和3年度進路状況

## 学生部

令和3年度の企業の採用活動については、例年通り3月1日の採用広報解禁となり、採用選考の開始が6月となりました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの企業がオンラインを用いた企業説明会や採用試験等を行っており、戸惑う学生が多く見受けられました。そのため、TASK ROOMにおいて、オンラインでの面接方法についてのアドバイスをするなどサポートを行いました。

また、公務員就職活動においては、多くの自治体が前期・後期の採用試験日程を設けており、採用活動が早まっている印象を受けました。そのため、例年10月に行っていた集団討論や集団面接の対策を本年度は7月にも行い、複数回実施しました。

このような状況の中、当初の就職内定率は低調でしたが、最終的には昨年度よりも3ポイント高い98.9%まで上昇しました。

# 成績優秀者及び功績者表彰

## 大学総務課

令和4年3月に挙行されました学位記授与式におきまして次の者を表彰しました。

食物栄養専攻並びに生活科学専攻生活福祉・心理コースの成績優秀者に対し、社団法人全国栄養士養成施設協会、並びに一般社団法人日本ソーシヤルワーク教育学校連盟より授与されるものです。

●全国栄養士養成施設協会表彰  
食物栄養専攻  
山本 千夏(あやもと) ちな(こ)

●日本ソーシヤルワーク教育学校連盟表彰  
生活科学専攻  
青木 杏樹(あおき あんじゅ)



# ふるさと納税で「三重短期大学を応援」

## 大学総務課

令和4年4月26日より津市では「ふるさと納税」がやき寄附として「三重短期大学」を指定した寄附を募集させていただきます。

この制度は、ふるさと納税の制度を活用し、三重短期大学を指定した寄附を募集させていただきます。

この制度を通じて、三重短期大学を応援していただけるようになりました。

三重短期大学を指定した寄附募集につきましては、令和4年度に開学70周年を迎える本学のこれまでの歴史を踏まえ、さらに本学を進展させ、

# 施設改修工事について

## 大学総務課

学生の学習環境の改善のため、校舎棟外壁等改修工事を実施いたします。工事内容は外壁や耐震プレスの塗装、防水施工、サッシの取替、外壁のコーキングを行います。

予算額は1億5千万円です。また、令和4年第2回市議会補正予算で、換気を行いながら十分な空調能力を確保するための空調設備改修事業の予算額は9029万円です。



ふるさと納税  
HP  
QRコード